

第2回 甲府市総合市民会館指定管理者の候補者選定委員会 議事録

日時：令和8年10月5日（月） 9：55～11：45

場所：甲府市役所 本庁舎9階 9-2会議室

1 開会（9：55）

2 2次審査の審査方法等について

事務局より審査方法及び留意事項について説明

3 提案内容審査

（1）プレゼンテーション

申請者（1者）による事業提案書に沿ったプレゼンテーションを行った。

（2）質疑応答

《委員1》

Q 基本方針について、サービスの提供を行う上で、最も重要視することはなにか。
また、特に活かしていきたいと考える民間ノウハウはなにか。

A 施設利用者に気持ちよく利用していただくため、綺麗な環境づくりを大切に
していく。また、民間ノウハウについては、特にイベントや施設の活用についての
PR活動に力を入れていく。

Q 施設の維持管理について、中長期的な施設の保存計画は、どのように考え、市と
共有をしながら進めていくのか。

A ただ直すだけでなく、どのように延命につなげるかを意識する。常に費用対効果
を分析し、施設の維持管理に取り組んでいく。

Q 自主事業について、貸館の少ない時期や使用していない会場を活用した取組み
が可能か。また、民間の強みを活かした新たな取組みの実施はあるか。

A 前後の利用状況を見ながら、利用者の使用を阻害しない範囲で、空いた日に自主
事業を入れ込んでいく。新たな取組みとして、本社事業と関連付けたイベントを
市民会館に引込みたいと考えている。また、開館40周年記念事業に向けての取
組を進めていく。

《委員2》

Q 緊急時の対応について、普段から誘導訓練や人員配置を十分行っているのか。

A 常に緊急対応に必要な員数が配置を行うわけではないが、年2回の防災訓練のほ
か、日頃から誘導方法について確認を行っていく。緊急時の自衛組織は編成及び
備品の確保もしており、緊急時に恙なく対応できるよう日頃から努めていく。

《委員 3》

Q 利用者の傾向は。

A 高齢者の割合が多い。若い方は土日のイベント等には集まるが、高齢者の方は休日だけでなく、平日の利用も多い。今後は若い方に向けたPRとして、SNS等を活用しながら、イベント周知を行っていく。

Q 1階レストランスペースの運営はどうなっているのか。

A 現事業者は、9月に開店したばかりで、現在はランチ営業のみとなっているが、今後は午後やディナー営業も提供していきたい。レストランの周知についても、本社企画も用いながら行いたいと考えている。

《委員 4》

Q 物価高騰が続く中、光熱水費等の経費節減については、どのように考えているか。また、修繕費や備品購入費、消耗品費の節約については、具体的な方法はあるか。

A 光熱水費については、空調等大型設備の熱効率を考えた運用や未使用場所のこまめな消灯に努めていく。備品購入費等については、現状あるものを大事に使用していくことで、節約を図っていく。

Q 勤務体制について、日常業務の人員体制はどのようにしていくのか。

A 職員として10名がおり、開館日ごと6名の配置となっている。夜間については、職員のほか警備員が館内安全確認等行う。

Q 各担当スタッフが「常勤2～3名」とあるが、具体的な配置は決まっているのか。また、大規模イベントなどの際には、増員対応は行うのか。

A 基本は1人が複数の担当となる。イベント時は本社事業部や外注している業者から応援に来ていただきたくなど柔軟に対応する。

Q 利用者アンケートは利用する全ての団体に対して行う予定か。

A 鍵の貸出に合わせてアンケートを配布し、回答をいただく。

Q 苦情や無理なお問い合わせがあった場合の対応策は考えているか。

A 相手の意に沿った形で回答できるよう、指定管理者のみで対応できる部分は迅速に対応し、予算や規模に応じた対応が必要な場合は市と協議していく。ゼロ回答はなくす。

O 自主事業等は現状の取組みの継続も大事なことだが、新しい取組みを取り入れながら、事業を拡大してほしい。

A 期待に応えられるよう努力していく。

《委員 5》

- Q 館長や副館長などの人員体制は来年度以降も同じ人員によるものか、変わる可能性もあるのか。
- A 母体企業の人事異動による。
- Q 事業責任者とは誰を指しているのか。
- A 共同事業体のうち、代表企業の取締役社長を指している。
- Q 調整会議等について、オンライン申込を検討していくとあるが、オンラインの環境整備は具体的にどのように考えているのか。
- A 時代に沿ってオンラインの導入は必要だが、利用者の多くを占める高齢者に対する紙媒体や電話での対応も残していく必要性を感じている。通信事業者と連携をし、システムの開発や勤怠管理ソフトの導入を進め、事務の効率化に取り組んでいく。市と相談しながら整合性を持って進めていく。
- Q オンラインの環境については具体的にいつから導入する予定でいるのか。
- A 新年度から着手したいと考えている。4月から検討を開始し、予算等との兼ね合いもあるが、段階的に導入していけたらと考えている。
- Q 構築にあたっての費用は別で考えているのか。
- A 指定管理料の中で行っていく。
- Q 決済手段については、クレカや電子マネーなど、どの範囲で導入予定か。
- A 提案書に載せた手段については全て対応予定です。
- Q 多様な決済手段の導入も新年度当初から行っていくということか。
- A その通りです。
- Q 会館の申込は規則で6ヶ月前からとしているが、利用者からもう少し早めてほしいなどの声はあるのか。
- A イベントでゲストや来賓を呼ぶには半年前では遅いとの声は聞いている。1年は無理でも、もう少し延ばしてほしいという声はある。
- Q イベントや自主事業について、参加者がどのようにしてその事業を知ったのか、なぜ参加をしたのかなどを調査しているか。
- A 現状行っていないが、イベント参加者向けアンケートなどを取り入れていきたい。
- Q 自主事業の企画・運営について重視することはなにか。
- A 新規の利用者獲得に向けた若い方へのアプローチと、高齢者層に向けた取組みの継続を同時に行うことが必要だと感じている。

《委員 2》

- 市民会館近くの地域の祭りなどでは、若い世代の来場も多い。若者向けのイベント等を積極的に取り入れて、新たな利用者の獲得につなげてほしい。

《委員 3》

- イベントを開催する場合、半年前では遅すぎて決めることができないため、1年前などにするなど市と共に対策を考えてほしい。また、若者に親しみやすい会館名称（ネーミングライツとは別）などを考えるもの良いと思う。

4 議事

(1) 2次審査結果報告

事務局より、技術点について、提案書評価票の項目ごとに平均点を読み上げ、技術点の合計点は 77.0 点と報告。

価格点について、選定方法に基づき算出し、価格点は 0 点と報告。

委員長より、技術点 77.0 点、価格点 0 点の合計 77.0 点と発表。

→異議なし

(2) 指定管理者の候補者選定

委員長より、2次審査の結果が 77.0 点であり、かつ技術点が選定基準である 63 点以上であることから、申請者を指定管理者の候補者として選定することが提案された。

→異議なし（候補者の決定）

(3) 審査総括（案）

候補者選定総括（案）について、採点結果記入の上、事務局が報告。

→異議なし

5 その他

- ・事務局より今後のスケジュール（議会による議決まで）について報告
- ・採点結果書の確認及び記名

6 閉会（11：45）